消防組織の概要

＜成田市について＞

本市は千葉県北部に位置し、人口約13万人の豊かな水と緑に囲まれた、伝統と国際的な姿が融和した都市です。

市の中心部は1080年以上の歴史のある成田山新勝寺の門前町として栄え、毎年多くの参拝客で賑わいます。また、南部には日本の空の玄関である成田国際空港の所在地でもあります。

＜消防本部の概要＞

職員数　250名（うち女性職員11名）※定数250名　R6. 7. 1現在

施設数　1本部4消防署4分署

車両数　消防車両43台、ボートトレーラー2台

管　轄　成田市、神崎町（消防事務を受託）

（人口：138,122人、面積：233.74k㎡）

組　織　【消防本部】

消防総務課（総務人事係・消防団係）

予防課（予防係・危険物係）

警防課（警防救助係・指揮係・指令係）

救急課（救急係）　※令和6年度新設

【消防署】

成田消防署（総務係・予防係・警防係・救助係）

成田消防署飯岡分署（消防係）

赤坂消防署（総務係・予防係・警防係）

赤坂消防署公津分署（消防係・救急係）

三里塚消防署（総務係・予防係・警防係）

三里塚消防署空港分署（救急係）

大栄消防署（総務係・予防係・警防係・救助係）

大栄消防署下総分署（消防係・救急係）

＜災害件数＞※令和５年中

火災	救急	救助	その他
61	8,619	130	1,304

＜最新消防車両＞

水槽付消防ポンプ自動車
（赤坂消防署配置）

高規格救急自動車
（飯岡分署配置）

成田市消防本部・消防署

成田市花崎町760（市役所と合同庁舎）

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、救助工作車、はしご車、化学車、水槽車、資材搬送車、救急車、指揮車、広報車

成田市飯岡107-3

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、救急車、広報車

成田市赤坂3-3

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、屈折梯子車、救急車、指揮車

成田市江弁須98-1

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、救急車、広報車

成田市三里塚2

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、大型化学車、支援車、救急車、指揮車

成田市木の根19

[配置車両]救急車、広報車

成田市津富浦1230

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、救急車、指揮車

成田市名木1055-1

[配置車両]水槽付き消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、救急車、広報車

成田市消防本部

NARITA F.D.

所在地　＜消防本部＞〒286-8585　千葉県成田市花崎町760番地

連絡先

消防総務課	0476-20-1590	予防課	0476-20-1591
警防課	0476-20-1592	救急課	0476-22-1273
成田消防署	0476-20-1594	飯岡分署	0476-36-0119
赤坂消防署	0476-26-3210	公津分署	0476-29-6627
三里塚消防署	0476-35-1007	空港分署	0476-30-1187
大栄消防署	0476-73-4141	下総分署	0476-96-4023

消防業務の紹介

消防 FIRE

＜業務内容＞

消防隊は消防車両に乗車し，火災時はホースを持ち消火活動を行います。対応する災害は火災だけでなく事故や自然災害などにも出動します。最近では救急活動のサポートのために消防車が出動しています。また、出動した隊を指揮をする指揮隊があります。

他業務として、予防査察、火災原因調査、広報活動、119番通報の受付や各種届出等の受付、更に、消防本部（総務・予防・警防・指揮指令）各課の業務など、現場活動以外の業務も実施しています。

＜職員から一言＞

消防という仕事は、危険と隣り合わせで大変なこともありますが、“人のために”という思いを持って働ける素晴らしい仕事です。人命救助を主とする職業は消防しかありません。

消防士長（平成２６年度入庁）

救急 EMERGENCY

＜業務内容＞

救急隊は救急車に乗車し怪我や病気、交通事故などの現場へ駆けつけ、症状を判断し、応急処置を行い適切な病院へ搬送しています。

救急隊には救急救命士という国家資格を取得した隊員も乗車しており、症状によっては救急救命士にしか実施することが認められていない高度な処置をしながら、病院に搬送し医師へ処置の引き継ぎをしています。

＜職員から一言＞

救急救命士として救急車に乗っています。現場活動時には力の差で劣る場面もありますが、仲間のフォローもあり、チームワークで救急活動をしています。

消防士長（平成２４年度入庁）

救助 RESCUE

＜業務内容＞

救助隊はレスキュー隊とも呼ばれ、火災や交通事故など日常の災害をはじめ、自然災害や水難事故などで発生した人命救助事案に対応している部隊です。成田市では特別救助隊と救助隊の２隊で市内全域をカバーしています。

今後、様々な事案に対応するため、高度な資機材を使用し、より専門的な救助活動を行う「高度救助隊」が発足する予定です。

＜職員から一言＞

私達の部隊は人命救助の最前線で活動し、あらゆる災害に迅速に対応出来るよう２４時間備えています。成田市民の安心、安全を守るべく日夜訓練に励み、最善の救助活動を目指しています。

消防士長（平成２５年度入庁）

消防署の一日

勤務時間中は常時 災害出動⑤ に備えています

8：30	勤務交代
9：00	業務申し送り
10：00	打ち合わせ
11：00	車両手入れ
12：00	清掃
13：00	※
14：00	←
15：00	訓練
16：00	昼食
17：00	夕食
18：00	車両点検
19：00	打ち合わせ
20：00	事務整理
21：00	体力錬成⑧
22：00	※ →
23：00	
0：00	
1：00	受付勤務
2：00	※仮眠時間⑨
3：00	を交代で行う
4：00	
5：00	
6：00	訓練 等
7：00	事務整理
8：00	査察
8：30	見学対応④
	車両等点検③
	車両手入れ②
	勤務交代①
	査察⑦ 等
	水利点検⑥

①勤務交代

②車両手入れ

③車両等点検

④見学対応

⑤災害出動

⑥水利点検

⑦査察

⑧体力錬成

⑨仮眠

＜より良い勤務体制を目指して＞

育児休業取得を推進しています！

私は、大学で救急救命士の資格を取得後に採用され現在消防本部消防総務課に勤務しています。第１子の出産時は、消防本部として制度運用開始後初の産休・育休取得だったので不安だらけでしたが、職場の温かいサポートのおかげで制度を活用して仕事と子育ての両立ができています。

消防士長
（平成２３年度入庁）

男性職員の育児休業取得も推進中！

本市では男性職員の育児休業取得を推進しています。令和５年度の育児休業取得率は約４０％。今後も仕事と育児の両立しやすい職場環境作りを推進してまります。